

三次市日中友好協会 会報

Ni

Hao

你好



第64号 2014年 1月 1日発行

三次市日中友好協会
〒728-0004 三次市穴笠町76-2
小山知秀宅気付
発行責任者 大谷 清

中華人民共和国駐日本国大使館訪問 2013年9月12日

今こそ民間交流の出番！

2013年9月12日の午後4時、中国大使館のマイクロバスが宿泊の品川プリンスホテルのメインタワー前に到着した。

「外」の文字の入った青色のナンバープレートがまぶしく映り、車内から中国大使館科学技術部の二等書記官の呂志さんが笑顔で出てきた。

2年前、私は市場調査で中国西安を連続して2回訪問し、西安高新区管理委員会に在籍していた呂志さんに出会った。その際の彼の対応は、徹底して友好的で、目的だった中国企業についても、即日対応し大きなチャンスまで提供してくれた。その後、呂志さんが東京の中国大使館に転勤し、地方都市と科学技術の交流を目的に三次の訪問を約束した。

2013年春節の三次市日中友好協会主催の恒例行事「日中友好交流三次市民の夕べ」には、中国大使館友好交流部汪婉参事官（大使夫人）に特別に祝賀メッセージを送っていただいた。



中華人民共和国中日本国大使館



汪婉大使夫人に三次市訪問の思い出を語る李纓公使参事官
写真(右)中国大使館友好交流部 参事官 汪婉(大使夫人)

(左)中国大使館科学技術部 公使参事官 李纓(今年6月三次市を訪問)

三次の観光「鵜飼」も十分満喫していただき、観光協会の幹部から「白い鵜」の現状や課題を聞いていただいた。三次市日中友好協会は、75名の規模ではあったが熱烈歓迎の「日中友好交流三次市民の夕べ」を催し市民交流を花を咲かせた。

2013年6月27日から29日の3日間、「三次市訪問の約束」は実現できた。それも、中国大使館科学技術部の李纓公使参事官と友好交流部の王麟書記官の3名を三次市に三次市日中友好協会の名において招待することができた。

三次市での濃密な交流視察計画は、三次市、三次市観光協会の協力で実現できた。電子部品メーカー「ミヨシ電子」や、「マツダ」ディーゼルエンジン工場の見学では、特に「マツダテストコース」での200キロ走行試乗が印象的だったようだ。

この印象は大使館の3名の心に三次市の市民の友情が素直に受け止めていただいた思いがしている。中国大使館科学技術部の李纓公使参事官と友好交流部の王麟書記官の3名、同じく科学技術部の呂志書記官から、「今度は中国大使館に来てください。」の声をいただくこととなった。



三次市日中友好協会中国大使館訪問団 王麟・呂志両書記官の案内で大使館内参観

三次市日中友好協会は、今年度事業計画の最重要課題として位置付け、「今こそ民間交流の中国大使館訪問団募集」と理事会に呼びかけ旅費等すべて自費参加とし、11名が参加を申し出ていただいた。

いよいよ中国大使館に近づいた。東京の元麻布と言え一等地、中国大使館に近づくと警備の警察官が通り毎に増えてきた。正門の前には厳重な警備を行う警察官が数多く立っている。昨年来、多くの右翼関係者が来るそう。電動門扉が開き、私たちの乗ったマイクロバスは、そのまま大使館に入る。ここからは、「日本の中の中国」である。

中国大使館は、築30年の重厚な外観でもあるが、内装は実に立派で、所々に中国の書画家の作品が飾ってある。どれも100号以上の大作で、高そうだ。

玄関で出迎えてくれたのが、三次市を訪問した友好交流部の王麟書記官と呂新鋒書記官。すぐに、彼らの案内で大使館内の参観をすることができた。



写真；上 大使館内「大使公邸」全景

写真；左 大使館内の案内は友好交流部 王麟書記官

「大使公邸」とその庭園、大使館員のためのプールやテニスコートも屋内体育ホールも見事だった。

大使館員のための宿舎も敷地内にある。王麟書記官も大使館内のこのアパートで生活している と言い、その玄関脇には、大きなカエルの置物が置いてある。「無事に帰って（カエル）ほしい。」とか？！

大使館玄関内に入ると、大使館友好交流部の汪婉大使夫人が私たちを迎えてくれた。実に理知的な容姿、話す日本語は上手過ぎる。大使との面談する応接間で大使を待ちながら有意義でフランクな懇談をすることができた。

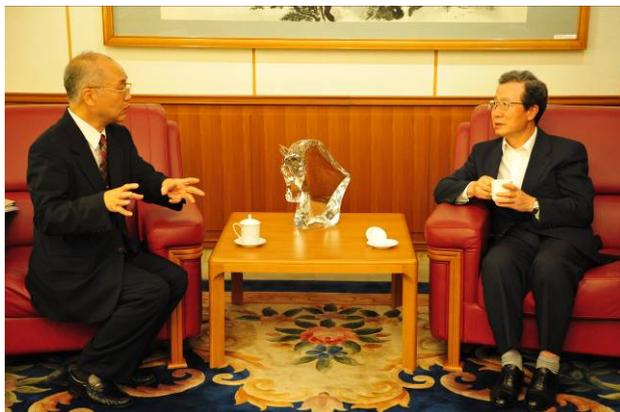
汪婉大使夫人は、電子データで送った「三次市日中友好協会23年の歩み」や三次市を訪問した3名の大使館員の報告など、「すべて勉強しています。いろいろなことをやっておられるようで素晴らしいと思います。」と実に流暢な日本語だった。汪婉大使夫人とのリラックスした懇談の中で、程永華特命全権大使が私たちの前に来られた。瞬間、緊張した空気に一変した。

中華人民共和国駐日本国大使館 程永華特命全権大使会見

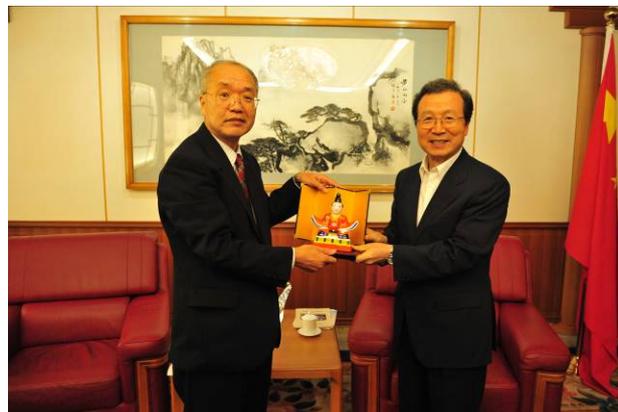
笑顔の大使と私が名刺を交換、大使はリラックスさせるよう11名全員に「よくいらっしゃいました。」と名刺交換していただいた。大使は、「名刺のパンダが可愛いですね。」と終始笑顔で。



三次市日中友好協会の活動に歴史的一ページ 程永華特命全権大使 表敬訪問
写真；中央右が程永華特命全権大使 右側の席には汪婉大使夫人・李纓公使参事官が同席



程永華特命全権大使「今こそ民間交流が重要」



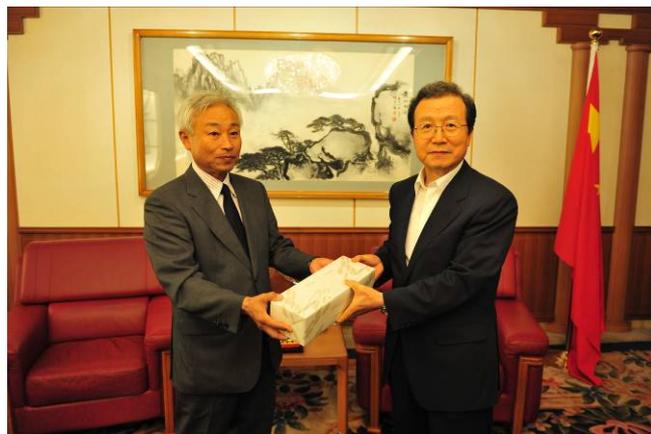
大谷会長から程永華特命全権大使に「三次人形」

大谷清会長は、次のように挨拶した。

「私たちのような広島県の小さな街である三次市日中友好協会の11名を大使自らお迎えいただき光栄です。中日国交正常化40年の半分を友好都市の四川省雅安市雨城区と民間交流に努力してきました。私たちは大きな事はできませんでしたが、小さな事を続けることはできました。今日の大使との面会は、三次市日中友好協会の歴史的な1ページとなり、本当にうれしく思います。現在、両国間の政治的環境はよくありませんが、こうした時こそ民間交流の絆を固くし、具体的交流が重要と考えています。雅安市雨城区との友好提携20周年の記念事業としての雅安市雨城区訪問実現についても、大使のご協力をお願いします。」

これに対して、程永華特命全権大使は、次のように挨拶した。

「みなさん、遠い広島からよくいらっしゃいました。皆さんの23年余の熱心な民間交流のことは、よく勉強しています。会長の言われた通り、今こそ民間交流が重要です。雅安市雨城区には、皆さんの気持ちを私からもお伝えしましょう。」



(写真；上左) 小川国博副会長から程永華特命全権大使に「三次西田ぶどう園ピオーネ」を贈呈
 (写真；上右) 卯山善章副会長から程永華特命全権大使に広島三次ワイナリー「貴腐ワイン」を贈呈



(写真；上左) 大谷会長から程永華特命全権大使に「三次ワイン」 (大使館訪問記念ラベル)

予定時間をオーバーしての表敬訪問・懇談



中華人民共和国
 駐日本国大使館
 友好交流部
 参事官

汪婉 (大使夫人)

歓迎夕食会での大谷会長あいさつ

三次を訪問したことのある大使館科学技術部の李纓公使参事官も同席していただき、懇談は「白い鶴」の話にまで発展した。大使から「日中両国で検疫をすればいいのではないのでしょうか。以前のトキのように。」今後の「白い鶴」の輸出入事業への協力を約束していただいた。

大使との懇談は、写真撮影を含めて20分程度と王麟書記官から聞いていたが、時間は30分すぎており、まさに「破格の扱い」、その後の予定されていた来客には待っていただいたようだ。

大谷会長は「三次人形」を、小川国博副会長は「三次西田ぶどう園ピオーネ」を、卯山善章副会長は「貴腐ワイン」と中国大使館訪問記念の特注ラベルの三次ワインを記念品として贈呈、大使からは、中国切手と十二支切絵の立派な記念品が一人ずつに贈られた。

三次市日中友好協会の歴史的1ページ



中華人民共和国駐日本国大使館 玄関前 三次市日中友好協会訪問記念

写真；後列 左から 李纓参事官・平田・鎧坂・黒田・榎八栄・汪婉大使夫人・榎了二・吉田
前列 左から 小井・卯山副会長・大谷会長・程永華特命全権大使・小川副会長・小林

大使館正門前で11名の三次市日中友好協会訪問団は、程永華特命全権大使ご夫妻、李纓公使参事官と共に記念写真を撮り、ホールで開催された歓迎夕食会に臨むこととなった。歓迎夕食会では、大使夫人のほか、王麟・呂新鋒書記官、科学技術部の呂志書記官が同席。大使館のシェフの中華コース料理に舌鼓を打った。

今回の中国大使館訪問は、想像以上に大使館側のレベルの高い歓迎と内容の深い有意義な懇談が行うことができた。

特に、大使夫人の汪婉参事官の担当する友好交流部とは交流の道筋も作ることができた。

汪婉参事官も、三次市日中友好協会の民間交流の23年の積み上げられた実績を資料で確認し、三次市日中友好協会の取り組みを「長年の民間交流、お疲れさま！」と高く評価していただいた。程永華特命全権大使には、思いもかけないほどの長時間の懇談ができたことや、「今こそ民間交流が重要」という点で、具体的なお話もすることができたことは大きな成果といえる。

正に、三次市日中友好協会の交流の歩みに歴史的1ページを記すことができた。

三次市日中友好協会「中華人民共和国駐日本国大使館」代表訪問団

団 長	大 谷	清	三次市日中友好協会	会長
副団長	小 川	国 博	三次市日中友好協会	副会長
副団長	卯 山	善 章	三次市日中友好協会	副会長
秘書長	吉 田	学	三次市日中友好協会	副秘書長

団員	小林	一登	三次市日中友好協会	副秘書長	団員	小井	国春	三次市日中友好協会	常任理事
団員	榎	了二	三次市日中友好協会	常任理事	団員	榎	八栄	三次市日中友好協会	会員
団員	平田	勇	三次市日中友好協会	常任理事	団員	鎧坂	照美	三次市日中友好協会	常任理事
団員	黒田	博巳	三次市日中友好協会	常任理事					

2014年 春節祝賀 日中友好交流三次市民の夕べ

日時 2014年 2月 2日(日) 18:30~21:20

会場 三次グランドホテル

会費 大人:5,000円(当日会場で申し受けます)

出席 ハガキ(切手不要)で2014年1月27日(月)までに必着

主催 三次市日中友好協会

出しもの 「**ビンゴ大会**」 **景品多数**
「**二胡**」演奏(予定)・日中友好カラオケほか

2013年は、日中平和友好条約35周年の年でしたが、政治的な日中簡の環境は依然厳しいものがあります。

しかし、昨年9月12日、三次市日中友好協会にとって歴史的な出来事として東京の中華人民共和国駐日本国大使館の程永華特命全権大使と夫人の友好交流部汪婉参事官に面談し、「民間交流の重要性から今後の市民交流への協力の約束」を確認することができました。

2014年、今年こそ友好都市の雅安市雨城区への訪問を実現したいと念じています。

昨年同様に民間交流の花を咲かせる市民交流会に多数の皆さんのご参加をお願いします。



(写真) 2013年春節祝賀
日中友好交流三次市民の夕べ

新年のごあいさつ

三次市日中友好協会
会長 大谷 清

2014年あけましておめでとうございます。

2013年は、三次市日中友好協会にとって激動の1年でした。尖閣の嵐の次は、防衛識別圏と矢継ぎ早の政治的環境からすればよくないニュースでした。しかし、9月の中国大使館での程永華特命全権大使ご夫妻との長時間にわたる懇談では、三次市日中友好協会の長年の民間交流を高く評価していただき、「民間交流こそ重要」と意見一致をみる中で、友好交流への光が差し込んだ気がしています。

2014年前半では、友好都市「四川省雅安市雨城区」とは、引き続き交流について協議する約束のメールが届いています。日中間の気持ちに寒風が吹いている、この時こそ私たちは、正しい情報に基づいて、将来を見通した民間交流の在り方を模索し、小さな街の小さな友好団体ですが、大きな気持ちで引き続き会員各位のご協力を基礎に頑張ってお参ります。

個人・法人会員のみならず、どうぞ三次市日中友好協会にこれまで以上のご指導ご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。